

求人件名		昭和女子大学 文化芸術センター 専任教員の公募 (科目名：「文化芸術講座Ⅰ」「文化芸術講座Ⅱ」)
機関名		昭和女子大学
部署名		文化芸術センター ※2026 年 4 月新規開設
求人内容	仕事内容(業務／担当科目等)	概要：本学は創設者の教育理念を実践するために創設された人見記念講堂を有し、文化芸術教育を特色の一つとしている。2026 年度から既存の教育を刷新し、文化芸術教育を専門に担う「文化芸術センター」を新規に立ち上げ、本センターの運営に従事する専任教員を募集する。人類の歴史の中で育まれてきた文化を多角的に学び、豊かな感性と創造力で築き上げられてきた芸術を主体的に理解し、文化芸術の社会的役割や意義を積極的に捉えることのできる人材の育成に本学教員として寄与する人を求める。授業担当に加え、授業コーディネーターとしての管理運営業務、インターンシップやプロジェクトの企画・実施・学生支援業務、研究機関としての文化芸術センター諸業務を企画・運営する。 担当科目名称：「文化芸術講座Ⅰ」（1 年生全員必修、通年科目として開講）、「文化芸術講座Ⅱ」（選択科目、前期・後期同一内容で開講） 業務の概要：専任教員としてⅠとⅡ（6 コース中、3 コース程度）を担当し、Ⅰについては講座選定・成績評価、Ⅱについては講義のほか専門家や外部講師のコーディネート、ワークショップ・校外実習等の企画・運営・引率等の業務を行う。また、アート・マネジメント専門教員として、文化芸術センター内の諸業務（助成金申請、アート・マネジメント研修・公開講座等の企画運営、産学官民連携事業の推進等）、プロジェクトやインターンシップの企画・運営・参加学生のサポートを行う。学会等での研究活動にも積極的に取り組み、研究機関としての文化芸術センターを推進していく。 ※その他[補足説明]ご参照のこと
	勤務地住所	〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57（最寄り駅：東急田園都市線三軒茶屋駅）
	募集人員	1 名
	着任時期	2026 年 4 月 1 日(水) から
研究分野		大分類：人文・社会 小分類：芸術実践論
職種		専任講師
勤務形態		■常勤（任期あり：5 年）所定の審査の上、左記任期満了後、テニユアとしての任用の道有り
勤務地		東京都世田谷区太子堂 1-7-57
応募資格		次のすべての条件を満たす方 （１）本学の建学の精神および教育方針を理解し、熱意をもって学生の教育・指導及び校務の運営に参加できること （２）担当領域の研究業績や実績を有すること （３）学士以上の学位を有すること （４）大学あるいは同等以上の教育機関でアート・マネジメントや芸術関連科目の教歴があること、または公共施設等でのアート・マネジメント経験のあることが望ましい （５）センターの学務運営一般及び研修の引率等に従事可能であり、文化芸術関連の

	プロジェクト活動のサポート、学生の履修・生活面における指導や助言を与える られること
待遇	本学規程による
応募締め切り	2025 年 12 月 16 日(火) 必着
応募・選考・結果通知・ 連絡先	【応募書類】 (1) 履歴書（写真貼付） (2) 教育研究業績書 ※(1)(2)は、下記書類を使用のこと 履歴・業績記入要領.pdf 履歴・業績フォーム（A4）.docx (3) 主要業績として、著書又は論文（抜刷又はコピー）あるいは実務業績 3 点 (4) 「文化芸術講座Ⅱ」（「音楽」「美術」「演劇」「映画」「伝統芸能」「デジタル・ポップカルチャー」の 6 コースを予定）について、6 ジャンルから一つを選択、講義概要 200 字程度と、ワークショップや校外実習等を含む授業 15 回分相当のシラバス（書式は任意） (5) 本学での教育の抱負(1000 字程度 書式自由) ※提出書類に含まれる個人情報、採用選考決定以外の目的には、一切使用いたしません ※書類以外での申請、また書類に不備のある場合は、審査の対象といたしません ※履歴書等について、署名または捺印を依頼する場合があります 【応募方法】 ◆「JREC-IN Portal の Web 応募（pdf データ提出）」又は「郵送（紙提出）」のいずれかの方法で、ご応募ください。 [JREC-IN Portal Web 応募の場合] 応募書類(pdf データ)を zip 形式で 1 ファイルにまとめ、JREC-IN Portal の Web 応募を用いて提出してください。 ※選考の結果不採用となった場合、提出書類は当方で責任を持って破棄いたします [郵送の場合] 応募書類(紙)を以下送付先に郵送してください。 《送付先》 〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57 昭和女子大学 教学支援センター学生支援課 教員採用担当宛 （封筒表に「文化芸術センター教員応募書類在中」と朱書のこと） ※応募書類(1)(2)は、A4 片面印刷・クリップ留めにて提出すること（ホチキス不可） ※レターパック・書留又は宅配便等の送付追跡ができるもので送付すること ※提出書類は返却しませんのでご了承ください（当方で、責任を持って処理いたします） 但し、返却を希望される場合は、返信用封筒に返却先を記載して、必要な料金分の切手等を貼

付のうえ、応募書類に同封してください

【選考方法・結果通知・採否の決定】

(第1次) 書類審査

(第2次) 模擬授業 15 分 (提出したシラバス「第1回」について)、面接 30 分程度
／2027 年 1 月中旬ごろに実施の予定 旅費は応募者負担

※第1次の書類審査の結果及び第2次審査の日時は後日メールにて連絡いたします

※採否の決定：選考結果はメールにて本人に直接通知します

【連絡先】

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57

昭和女子大学 教学支援センター学生支援課 文化芸術センター教員採用担当 宛

e-mail artsc@swu.ac.jp

質問・連絡については件名を「文化芸術講座の教員採用について」としメールでお願いいたします

その他

[補足説明]

文化芸術センター (2026 年 4 月開設) の概要

本学は人見記念講堂 (収容人数 2,070 人) を有し、建学の精神を具現化するため“本物の芸術”を身近に学ぶ施設として活用されている。現在は全学部 of 1～3 年生を対象にした必修講座として、一流の芸術家による公演を聴講する「文化研究講座」、国内外で活躍する著名人の講演を聴く「女性教養講座」を開講している。

2026 年度からは、社会や文化の多様化や時代の変化を鑑みて「文化講座」の刷新を行い、単位認定科目から教養科目に変更し、文化芸術に関する授業や関連行事を統括する「文化芸術センター」を開設する。文化芸術センターは、大学構内に位置する希有な芸術の殿堂である人見記念講堂と教育との連携をより強化すると共に、学外の施設等も視野に入れて学生が文化芸術に主体的に関われるカリキュラムを整え、未来を創造するクリエイティブな力を育成することに貢献していく。また、人見記念講堂と連携しながら、地域や企業との協働プロジェクトやインターンシップ、アートマネジメント講座等の研修会を企画・運営する。なお、芸術監督 1 名を置いて、定期的にアドバイスを受ける。

文化芸術センターの構成人員は次のとおりである。

専任教員：2 名 専任職員：2 名 派遣職員：1 名 兼任職員：1 名

文化芸術センターでの仕事内容

文化芸術センター教員は、「文化芸術講座Ⅰ」(通年科目)と「文化芸術講座Ⅱ」(選択科目、前後期同一内容)を担当し、成績評価を行う。

「文化芸術講座Ⅰ」は、全学科の 1 年生全員 (およそ 1,600 名) が人見記念講堂で多様なジャンルにわたる公演を受講する必修科目であり、後継科目「文化芸術講座Ⅱ」を視野に文化芸術センター教職員が人見記念講堂職員と共に公演を選定する。単なる芸術鑑賞に留まらず、国内外の古典から現代に至る優れた芸術に触れ、幅広い視野で社会や文化を学ぶ機会とする。

「文化芸術講座Ⅱ」は、2 年生以降で履修する全学科対象の選択科目であり、座学による準備講座を受講後、第一線で活躍する方々から直接指導を受け、ワークショップ

プや校外実習等で実践的に学ぶ。「舞台」・「伝統芸能」・「映画」・「美術」・「音楽」・「デジタル&ポップカルチャー」の 6 コースを設定、芸術文化センター専任教員がそれぞれ 3 コース程度を担当し、外部講師のコーディネートや校外実習の企画等を行う。また、「文化芸術講座Ⅱ」を受講していない学生も受講できるような公演や講演を企画し、多くの学生が文化芸術に触れる機会を積極的に準備していく。

人見記念講堂との連携業務

女子大学である強みを生かした未来的・創造的・実践的なプログラムを立案し、文化芸術を通して人生やキャリア、社会について考えを深めるための企画を行い、実施する。例として、舞台公演に関わりながら実践的に学ぶプロジェクト型インターンシップの実施、地域の文化財団や音楽関連企業との連携プロジェクトの実施等。また、各種助成金の獲得を目指す。